

PE同径活管分岐継手

Equal Diameter Branch-Fitting for Live PE Gas-Piping

ガス導管における既設の鋳鉄管・鋼管では「同径活管分岐」という技術は一般的に行われており、当社も対応する継手を商品化しているが、近年急速にポリエチレン（以下、PEと略す）配管が普及するにつれ、すでに埋設されたPE配管でも「同径活管分岐」工法の要求が高まってきた。

現在、既設のPE配管からそれと同口径のPE管を分岐取り出しする際には、既設管を切断しているの、需要家へのガス供給を停止せずに工事を行うためのバイパス配管およびガス遮断に、多くの継手と作業時間を要し、掘削面積も大きくなるという問題がある。これらの問題はPE同径活管分岐継手を

用いることにより、解消され、工事のコストダウンが可能となる（図1）。

1. 構造

PE同径活管分岐継手は呼び径により構造が異なる。その構造を図2に示す。呼び50（図2(a)）、75は既設管の穿孔のためのカッターを継手に内蔵しており、外部から簡単な工具操作で穿孔・分岐取り出しができる。また、穿孔用工具を取り外してガスを完全にシールするまでの間、ガスの噴出を最小限に抑えるため、逆止弁機構も内蔵した。呼び100、150、200（図2(b)）はカッターを内蔵せず、外部に専用の穿孔機を接続して穿孔を行う構造とした。

2. 用途

- (1) ガス低圧・中圧配管埋設用
- (2) 既設PE配管からの同一口径での分岐取り出し

3. 仕様

主な仕様を表1に示す。

4. 特長

- (1) ガスを流しながらの分岐取り出しでも、バイパス配管およびガス遮断が不要となるため、継手の使用数が従来の7個（最大）から2個となり、作業工数および掘削面積が少なくて済む。
- (2) 従来のサービスチーに比べ圧力損失が小さい。

（配管機器カンパニー）

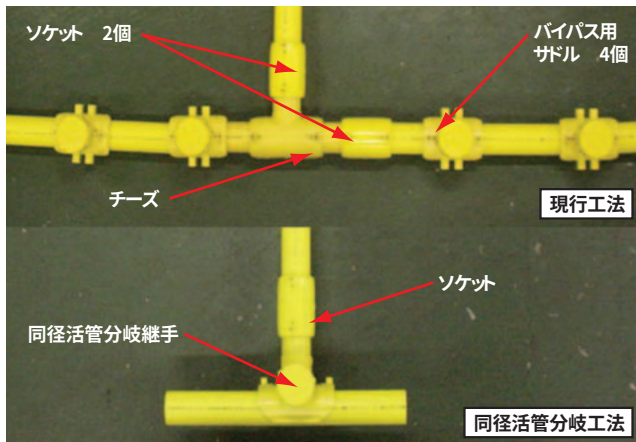


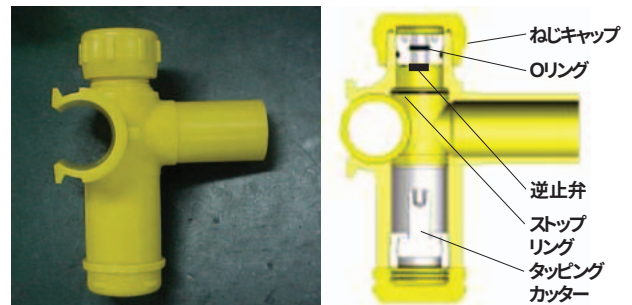
図1 現行工法との比較

Fig. 1 Comparison of equal diameter branch method for live PE gas-piping with current branch method.

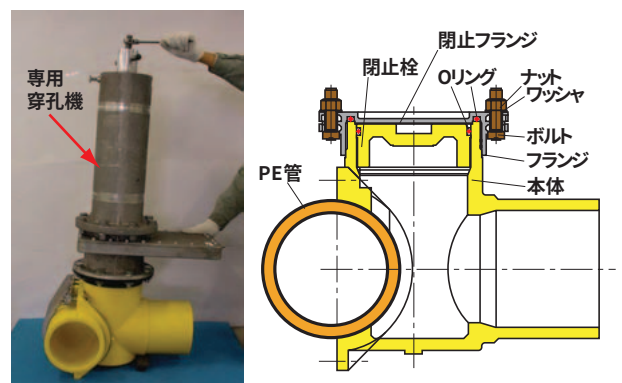
表1 仕様

Table 1 Specification.

呼び	通電制御方式	穿孔方式
50	温度検知式自己制御方式および バーコード式時間制御方式	カッター内蔵方式
75		
100	バーコード式時間制御方式	外部カッター方式
150		
200		



(a) 呼び50 (Designation 50)



(b) 呼び200 (Designation 200)

図2 同径活管分岐継手の外観と構造

Fig. 2 Appearance and structure of equal diameter branch-fitting for designation 50 (a) and 200 (b).